



# 市職員のあらまし



市は、業務の公正さと開かれた行政運営のために、地方公務員法や市の条例にもとづき、人事に関する情報をホームページなどで公開しています。今月のズーム・アップでは、職員数、人事に関わる財政、手当などの状況や評価の方法など、人事行政のあらましを紹介します。

### 勤務時間・人件費

市の職員の勤務時間(表2)は、1日7時間45分、1週につき38時間45分の5日勤務を基本としています。始業・終業時刻については、認定ことも園・環境センターなど勤務の特性に応じて異なるものがあるほか、病院や消防職員などは、夜間の勤務があります。市の財政に占める人件費の割合(表3)は、おおむね11%、1人あたりの平均年間支給額(表4)は67万1千800円となり、給料、期末勤勉手当(ボーナス)、職員手当で構成されています。

### 手当などの待遇

6月と12月に支給される期末・勤勉手当のほか、扶養手当などの職員手当があります。職員手当には、表に掲げるもののほかに、児童手当や地域手当などがあります。年次有給休暇については、年間20日与えられ、最大20日まで、翌年に繰り越すことができます。

### 人事評価

地方公務員法に定められた責務の一つとして、「人事評価制度」があげられます。職務の業績や能力などを客観的に評価し、給与などへの処遇・能力開発などに反映することで、適切な人事管理や人材育成につなげることを目的に実施しています(表8)。

#### POINT

人事評価結果については、昇給・勤勉手当の給与面に反映するとともに、人事異動、昇任・昇格、分限などの人事管理上の基礎資料としています。

#### POINT

市は、人材育成のため多様な職員研修を実施しています。令和6年度には全52回実施しました。

《表8》人事評価の概要(令和7年度)

項目	内容
評価対象	常勤の一般職 ※病院医療職は別に独自の人事評価を実施。
評価期間	◎部次長職(年1回):4月1日～3月31日 ◎課長職以下・技能労務職(年2回): ① 4月1日～9月30日 ② 10月1日～3月31日
評価項目	「業績」「意欲・態度」「能力」の3つの事項について職種に応じた要素を評価
成績区分 配分比率	A:特に優秀 評価対象者の5%程度 B:優秀 評価対象者の25%程度 C:良好 A・B・D・E以外 D:良好未満 評価点が30以上50未満 E:成績不良 評価点が30未満
多段階評価	被評価者が自己評価を行い、1次・2次評価者がそれぞれ独立して評価を実施 ※調整者は成績上位者(A、B)を調整。
評価者体系	◎1次評価者:直近上位の上司 ◎2次評価者:1次評価者の上司 ◎調整者:部長職以上
結果通知	最終成績区分を個人宛に文書で通知
面談	1次評価者は、1評価期間について期末面談か評価結果開示面談のいずれかを実施

《表6》手当の内容(令和7年度) ※4月1日時点

区分	内容		
期末勤勉手当	年間で基本給の4.6か月分		
扶養手当	◎配偶者:3,000円 ◎子:1万1,500円 ◎父母など:6,500円		
管理職手当	◎部長職:7万6,000円 ◎次長職:6万800円 ◎課長職:4万8,300円		
通勤手当	◎通勤距離2km以上の職員 交通機関などを利用:上限15万0,000円 自家用車などを使用:上限3万1,600円		
住居手当	◎借家:上限2万7,000円 ※持家は不支給		
特殊勤務手当	勤務の特殊性に応じて支給		
時間外勤務手当	1時間あたりの給与額に、100分の25から100分の175までの割合を乗じた額を支給		
寒冷地手当 (11月～3月)	◎世帯主・扶養親族あり:月額2万6,000円 ◎世帯主・扶養親族なし:月額1万4,500円 ◎そのほかの職員:月額9,800円		
退職手当	勤続年数	定年・勲奨退職	普通退職
	20年	24.586875か月分	19.6695か月分
	25年	33.27075か月分	28.0395か月分
35年	47.709か月分	39.7575か月分	

《表7》年次有給休暇の取得状況(令和6年1月～令和6年12月)

総付与日数	総取得日数	全期間在職職員数	平均取得日数
36,223日	13,360日	958人	13.95日

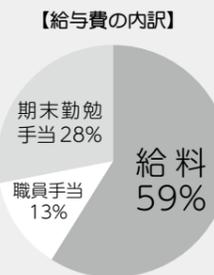
《表3》人件費(令和6年度普通会計決算)

歳出額(A)	人件費(B)	人件費比率(B÷A)	前年度の 人件費率
630億6,431万4千円	71億3,935万9千円	11.32%	11.96%

《表4》職員の給与(令和7年度一般会計予算/当初予算)

職員数(A)	772人
給与費(B)	51億8,623万7千円
1人あたり 給与費(B÷A)	671万8千円

※表中の職員数には、水道局、病院などの特別会計予算の人員数などを含みません。※表中の給与費には、退職手当を含みません。



《表5》初任給与と平均給料の推移(令和7年度) ※4月1日時点

年度	学歴	初任給	平均給料月額	平均年齢
R7年度	大学卒	22万0,000円	32万6,400円	41.70歳
	高校卒	18万8,000円	31万4,900円	41.80歳
R6年度	大学卒	19万6,200円	31万8,100円	41.90歳
	高校卒	16万6,600円	30万1,500円	41.10歳
R5年度	大学卒	18万5,200円	31万4,000円	41.80歳
	高校卒	15万4,600円	29万2,800円	40.10歳

《表1》職員数の推移

職員の区分	職員数		
	R7年度	R6年度	R5年度
特別職	5人	5人	4人
市長部局	565人	548人	532人
病院	324人	309人	299人
消防	136人	133人	132人
水道局	50人	49人	45人
議会・行政委員会	74人	73人	69人
再任用職員	18人	18人	29人
任期付職員	10人	18人	19人
常勤職員数の計	1,182人	1,153人	1,129人

※各年度4月1日時点の職員数。※職員数には、休職中や他の団体などへ派遣中の者を含む。※フルタイム会計年度任用職員を含む。

《表2》職員の勤務時間

1週間の 勤務時間	勤務時間などの割り振り		
	始業時刻	終業時刻	休憩時間
38時間45分	8時45分	17時15分	45分
〔週休日〕土・日曜日			